

11 集客施設における避難の状況（松田）

11.1 天神地下街

天神地下街では 10 時 53 分の地震発生直後にエレベータの停止とスロッシングによる蓄熱槽の水位異常で防災センターの警報が鳴った。しかし、監視用のビデオによれば火災等の発生もなかったため地震終了後 20 秒程度で通常の状況に戻ったということである。11 時 5 分にはエレベータの点検も終えた。しかし、11 時 35 分に津波注意報と周辺の商業施設の営業状況を考慮して営業中止を決定し避難アナウンスを開始した。避難誘導は市役所西広場とのことである。12 時 4 分には地下鉄七隈線天神南駅との連絡通路閉鎖、12 時 10 分には地下鉄空港線天神駅との連絡通路を閉鎖し、12 時 26 分に全シャッターを閉鎖して避難を完了した。避難開始から避難終了まで約 50 分の時間を要している理由は地下街各店舗の施錠に時間を要したためである。買い物客の避難は特に混乱もなく整然と行われたようである。天神地下街では平成 17 年 2 月の拡張に伴い、全店舗でオール電化となりガスによる火災のリスクはゼロとなっている。避難誘導員は 50 名程度確保されており、これまでも火災等を念頭に置いた避難訓練は定期的に行われてきている。しかし、地震を想定した訓練は行われてはいないとのことである。